

学校給食センター運営にかかる検討委員会 議事録

日 時：平成27年11月12日（木） 19：30～21：13

場 所：多可町中央公民館 大会議室

出席者：20名（別紙名簿参照）

欠席者： 4名

傍聴人： 4名

司会進行：事務局

1. 開会 19:30

2. あいさつ

笹倉委員長

3. 協議事項 進行：笹倉委員長

1) 経過報告について

事務局から今回から会議が公開されており、今までの会議経過を報告する。

2) 委託条件について

前回の会議で調理業務を民間委託する場合の業者選定はどのようにするのかとの意見が出たので、資料を提示し説明する。

3) 周知方法等について

調理業務を民間委託とした場合に、保護者の方への周知等をどのようにしていくのか。方法、手段について意見を求めた。

【各委員からの意見】

委員長:安全安心な給食を提供することを根底において皆さんの意見を交わしていただきたいと思います。今までの説明を聞く中で、正規調理員は、町の方針で増員できない。嘱託調理員が1年ごとに入れ替わることや嘱託調理員の確保が難しいといった人的不安があるので、調理部門を民間委託にせざるを得ないと思います。そんな中で、それでは民間委託の条件はどのようにしたら良いのかとの意見が出ましたので、今回の会議となっております。

委員長：一つ目は、委託の条件について皆さんの意見を交わしていただきたいと思います。

二つ目はどのようにして皆さんに知っていただければ良いのか周知方法について考えましょうとのことでした。

【調理部門の民間委託の仕様について】

委員：委託の条件について、まずは資料の説明を事務局からしていただいてから、委員の皆さんから意見を頂戴したいと思います。

事務局：町の条件案として、「調理業務等の民間委託仕様内容案」でお示しさせていただきます。（資料の説明をする。）

委員：現在、配送業務は、どうなっているのですか。

事務局：給食コンテナの配送回収業務は、車両管理も含め全面民間委託しております。八千代区の業者です。

委員：民間委託した場合に栄養士さんの意見が通るのですか。民間業者の栄養士が複数おられるのにどうですか。

事務局：資料にも表で示しておりますように、給食センターの栄養士が献立を立てて、業者の現場責任者に指示書で伝えます。相互でミーティングを何度も行い、調理献立を調理現場に伝えていくことになります。

委員：旧のセンターでしていたように地元、地区の特産を使った献立、給食を提供することができるのですか。味気のない給食になってしまわないのですか。

事務局：材料、食材はできるだけ国産に限定して町が仕入れて献立を立てます。また、地産地消の取り組みとして、地元野菜、季節野菜を使うようにしています。JAみのり農協多可営農経済センターが窓口となって対応しています。

委員：民間委託とは、神戸市のように民間に全て丸投げをするといったイメージで捉えていましたが、だいぶ分かってきたと思います。

事務局：調理部分のみの民間委託と言うことです。

委員：給食センターの栄養士が大変と思いますが、どうですか。

委員：現状は、経験ある調理員にアドバイスを受けて献立を立てています。新たな調理員となった場合は調整することが大変になると思います。

委員：献立調理の調整は、資料にあるように管理栄養士が立てるとなっていますが、民間業者の栄養士との調整はどのようにされるのですか。

事務局：基本は給食センターの栄養士が献立を立てて、民間側に指示書として指示を出しますので、管理監督は給食センターの栄養士で、民間の栄養士、責任者は受け手側となります。これは明確なところですが、早い段階から詳細なミーティングを行いますので、共に行うこともあり得ると思います。

委員：調理部門が民間委託になっても、今までのお母さんの味というか調理員さんの味をどのように再現するのですか。

事務局：調味料の割合や野菜の切り方などの過去のデータと経験ある調理員からのアドバイ

スを受けながら日々の献立作成をしていますので、献立のデータ蓄積が大切になってきます。

委員：この委託仕様内容に当てはまる業者は、少ないように思いますが、丹波市を参考につくられたのですか。

事務局：丹波市に勉強に行かせていただいて、レベルの高い業者の選定が必要であると伺いました。仕出し調理業者などの調理ができるだけでは、センター方式の学校給食は作れないとのアドバイスを受けました。信頼のおける業者に委託するために、業者のレベルを上げる必要があります。

また、献立、調理を作成していくうえで現在の調理員の経験を引き続き活かすためにも、地元雇用を優先したいと思っています。

委員：現在の嘱託調理員さんはどうなるのかというと、引き続き調理員として希望される方は委託された民間業者に地元雇用をお願いして、希望が叶うようにする。正規の調理員は、キッズランドの調理へ異動していただくとの方向づけと受け取りました。

また、業者のレベルを上げるとすると、都会の大手の会社となり、多可町から遠方となるがその点はどうですか。

事務局：その点が応援体制に関わることで、本社の場所も関係するが、県内や近隣に支店や営業所、調理現場があるなど広いネットワークを有する会社であるという位置づけが大切であるということです。

委員：学校長として、学校現場での意見は、ありませんか。

委員：学校現場としては、今の現状の給食がそのまま続くということが一番安心できる所です。業者選定の仕様内容をイメージすると、丹波市の例を取ってしても給食内容や味が変わらなかったのも、指示書で提示するので、栄養士の負担が大きくなるのが心配なところです。自分の中では、不安はないです。

委員：業者の調理部門でのあり方や運営とチェック機能や反省会などの振り返りなどで、こちら側の希望を柔軟に聞いてくれる部分が大きな比重を占めると思います。最終的には、子供たちにとって安全安心が一番大切なところです。

委員：学校としては、とにかく安全・安心・安定的な供給が一番です。そして、保護者の負担が軽いこと、栄養面や味がきちっとしていることが大事です。台風やインフルエンザなど急な欠食など緊急対応に応じてくれることが大事です。

調理業務の民間委託はインターネットで調べると全国的な広がりがあります。学校長としては、安全面、安定面を強調したいです。

委員：安全安心な面において、給食センターからノロウィルスなど食中毒を起こすことのないように衛生管理を徹底することなどが書かれている内容であり、万が一の場合に、損害賠償にも触れている仕様となっていることは大事だと思います。

事務局：損害賠償の要件を付けていますが、給食センターとしては感染症などを起こさない

ということが大前提ですので、衛生管理基準を厳守することが求められます。

委員：栄養教諭の食育指導は、どうなるのか。

学校教諭としての仕事は、給食センターでの給食業務に携わる時間が多くなればどうなるのか。栄養教諭のご意見はありませんか。

委員：学校の栄養教諭任せになると困ります。食育指導で学校への訪問は必要だと考えます。

委員：早く給食関連業務に慣れて、栄養教諭の仕事へ移行できるようにならないと行けないと思います。

委員：この仕様に全てが含まれているように思います。学校給食衛生管理基準は、学校給食に携わる者全てに関わります。

食育では、一般的に今日の給食を題材に、具体的に子供たちに話していくことによって、食育の進め方で家庭でも給食が話題になるようにして欲しいと思います。食育指導や献立は、給食センターの3人の栄養士で決めて行けば良いと思います。

慣れていけば長く調理指導に時間を取られることはないと思います。指示書でしっかりと行っていけば良いと思います。

委員：調理員の研修は、民間委託になっても行うのですか。

事務局：調理員の衛生研修は、民間になっても当然必要なことです。

委員：契約では説明責任が発生するが、定期的に説明していただく必要があります。

委員：民間委託で応援体制の概ね2時間以内とはどういう意味があるんですか。

また、業者選定での具体的な審査内容などの公開はどうなるのか。

事務局：特別な根拠はありませんが、応援を求めるときに狭い範囲に絞らないと駆けつけることができないので、兵庫県内や高速を使って大阪からなど系列会社がある会社に絞るという意味です。2時間は目安であり、業者を探すなかで明確な時間を表すことになります。

事務局：プロポーザルの評価は、仕様にに基づきポイント制になります。審査員による評価審査委員会を開いて、業者の提案を受けることになります。評価は、安かろう悪かろうではいけないので、適正な評価が求められます。公表は、いままでのプロポーザルの公表例に沿ったものとなります

事務局：プロポーザル実施までにこの仕様書の内容等で業者の応募を受付し、応募してきた業者に対して詳細な要求書で、プロポーザルに望んでもらうことになります。

委員：ハイレベルな業者選定として、応募がなかったら場合はどうするのか。契約期間はどうか。私が思うのに、2社ほどで〇〇会社ともう1社ぐらいしかないと思いますが、業者の把握はされているのですか。

事務局：万が一、応募がなければ、直営にならざるを得ないと思います。現に近隣ではそうした事例も聞いておりますが、そうならないようにしたいと考えております。契約

年数は、長期の契約となり3年ないし5年とっております。

業者を正確には把握はしていませんが、数社になると思います。委員が把握されている数社と考えられます。

【周知の方法について】

委員長：周知の方法は、どうしたらよいですか意見はありませんか。

資料では、Q&Aの資料も出ていますが、どうでしょうか。

委員：資料Q&Aも助かるが、色々な書類に目を通すことが多いが、文字ばかりだと分かりづらいし理解しようにも言葉が入ってこないの、何処までが「官」で、何処までが「民」なのか、具体的に図などにすると分かりやすいし説明しやすいと思います。

委員：PTA関係者が、保護者に説明するというのはおかしいと思いますが、そのあたりはどうなんですか。

事務局：当然、保護者への説明は町が行っていきます。PTAなど保護者の方に説明する資料としてどんな物が良いのか、Q&Aでの資料を提示していますが、ご意見を頂戴するということです。また、保護者への説明の方法を、学校ごとか区単位かその点もご意見を頂戴したいと思います。

委員：民間委託ありきとの方向が出ていますが、長期契約の中で年間1,200万円の経営コストに係るという話しを保護者から質問を受けたときに、安全安心のために1,200万円を投入する説明はできないし、安定した給食を提供するために1,200万円を投入するということですが、今はそれができていないのかと問われてもできているんじゃないですかと返事に困るところです。お金のところもしっかり説明できる資料を用意してほしいと思います。

事務局：前回の会議の中でも説明していますが、現状の給食が悪いといったことはありません。しっかりと給食を調理員に作ってもらっています。

しかしながら慢性的な調理員不足の状況が続いているという点も事実です。調理員募集をハローワークに登録したり、広報でも募集案内を掲載しています。また、調理員の紹介をPTAにも呼びかけていますが、有効な手立てとなっていません。この状況を打開するために、どうしたら安定的な給食が提供できるのかという点で議論していただいていることをご理解いただきたいと思います。

コスト面についても保護者の方に説明していかないとはいけませんが、将来にわたって安全・安心そして安定的な給食を提供するために、しっかりと質問に答えられるようにしていきたいと思います。

事務局：前回は質問がありましたが、民間委託経費は給食費には反映をしません。民間委託に係る経費は、直接町の運営費に関わってくことで保護者の方に負担を強いるものではありません。

委員：保護者への説明会の方法として、現実的なことでは、区、中学校区の範囲と思いますがどうでしょうか。

委員：区の範囲での説明で良いのではないのでしょうか。

委員長：中学校区単位となりますが、それで良いのでしょうか。保護者に納得のいく資料の提供もお願いしたい。

事務局：アレルギー対応も民間になっても現状対応を求めています。

委員長：今回は、答申案について、検討をする場となります。

【まとめ】

今回の委員会では、今までの会議の内容を踏まえて答申案を作成するので、答申案について討議する場としたい。

4. 閉会 21：13 高見副委員長

次回委員会は、**1月12日（火）19：30 中央公民館2F大会議室** で決定

■次回検討委員会での協議内容

- ・検討委員会の答申案について、協議を行う。